



電友会だより

発行 者 電 友 会 本 部
東京都新宿区西新宿3-19-2
NTT東日本本社ビル内
TEL 03-5359-6969
発行責任者 電友会本部
理事 事務局長 星 野 睦
発 行 日 令和6年7月

高部会長あいさつ



電友会の令和6年度評議員会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

電友会は、ご案内の通り、NTTグループのOB/OGの集まりとして、会員の皆さんが生きがいを持って健康で充実したシニアライフを過ごしていただけるようにとの基本的考えの下で活動しておりますが、これらの活動は会員の皆さん全員の交流参加によって支えられております。

さて、その交友活動ですが、昨年5月にコロナが5類に移行してからの1年間を通してみれば、早々とコロナ前まで戻ることができた活動と、まだ回復途上にある活動とで幾分温度差があったようですが、少なくとも今年度に入ってから、すっかりコロナ前に戻ったと言って過言でないと思います。

また、会員相互の交友活動と並ぶ、電友会活動の大きな柱であるボランティア活動に関しては、コロナ期間中も含めて地道に活動頂いており、会員の皆さんの地道な活動が地域社会への貢献とNTTグループのシンパシーの向上にも大いに役立っていると思っております。

一方で、コロナ期間中、停滞していたNTTグループとの連携や事業支援につきましては、まだまだ道半ばですので、NTT様のご協力をいただきつつ、今後更に活発な活動が戻ってくることを期待しているところであります。

また、アクティブシニア支援機構（ASO）におきましては、従前からの防災監視業務の拡大や自治体のスマホ教室の開催支援に加え、鋼管柱点検業務やドコモ社とタイアップしたスマートシニアリーグが本格的に動き出すなど、会員の就労支援と合わせた連携が進んでいるところであります。

さて、NTTグループの方は、ご案内のように、今年1月に固定電話網からIP網へのマグレーションが円滑に実施され、同じく4月には40年前の競争導入とNTT民営化の際に制定されたNTT法が改正されて、

令和6年度 電友会本部評議員会

幾つかの規制が撤廃されました。こうしたことについて、経営陣の皆様のご尽力に心より敬意を表したいと存じます。
今年はまだ、平成11年にNTTが再編成されて25年の節目の年にもなります。

この間、東・西・コム事業活動も大きく変わり、また非通信を担うグループ会社も成長を続け、その社員数の割合も多くなると同時に、NTTグループの社員の雇用形態も65才就労を前提とした雇用形態へと変わってきております。

このような環境変化の中にあって、私ども、電友会にとって急務の課題が会員数の減少となっていることはご案内のとおりです。昨年度末の会員数も6万1千名と、ここ数年の傾向ではありますが、前年比で▲3千名減少しております。

電友会と致しまして、少しでも会員の減少を抑えられる取組みを一層強化していく必要があります。これまで、各地方本部で成果を上げている施策の水平展開を図ってまいりましたが、今年初めて、この6月にNTT各グループ企業様のご協力をいただいたいて、首都圏で退職予定の管理職向け説明会を電友会主催で開催したところで、また、現役社員に向けて電友会の認知度を高めるための入会案内やポスターを作成するなどの取り組みを行っており、あわせて、引き続き、全国の会員の皆様の力強いご協力をお願いしたいと存じます。

会員の減少が続いてはおりますが、少しでもそれを抑えるべく、皆で力を合わせて会員の輪を広げ、魅力ある活動を展開しながら、健康で充実したアクティブライフを過ごして行きましょう。

電友会役員

会 長	高部 豊彦	(本社地方本部長)
副会長	片山 泰祥	(関東地方本部長)
副会長	小椋 敏勝	(関西地方本部長)
副会長	山本 博敏	(ドコモ地方本部長)
理 事	吉澤 和弘	(東京地方本部長)
理 事	加賀谷 卓	(関東地方本部副本部長)
理 事	成宮 憲一	(信越地方本部長)
理 事	舞田 正幸	(東北地方本部長)
理 事	高石 茂	(北海道地方本部長)
理 事	伴 秀実	(関西地方本部副本部長)
理 事	戸谷 典嗣	(東海地方本部長)
理 事	岡本 金久	(北陸地方本部長)
理 事	川守 祐市	(中国地方本部長)
理 事	前重 民夫	(四国地方本部長)
理 事	吉岡 広志	(九州地方本部長)
理 事	熊本 敏彦	(沖縄地方本部長)
理 事	仲本 榮章	(コム地方本部長)
理 事	庄司 哲也	(本部事務局長)
監 事	星野 睦	(東京地方本部副本部長)
監 事	祖父江和夫	(東海地方本部副本部長)
相談役	橋本 涉	
相談役	村上 治	
相談役	林 豊	
相談役	青木 利晴	
相談役	鈴木 正誠	

《 懇 親 会 》



乾杯 鈴木電友会相談役 ご来賓挨拶 三浦NTT特別顧問 挨拶 高部電友会会長



中締め 小椋電友会副会長

《 評 議 員 会 》

日時：令和6年7月4日(木) 場所：KKRホテル東京



ご来賓祝辞 日本電信電話株式会社執行役員総務部門長 坂本秀治様

高部電友会会長挨拶



監事報告

議案説明

吉米地議長



評議員会模様

各地方本部の活動紹介

関東電友会 「女性の集い」

関東電友会山梨支部「女性の集い」が5年振りに、石和温泉「華やぎの章 慶山」において開催されました。当日は女性の会員を中心に、来賓・役員総勢83名の出席があり、セレモニー後の懇親会においては、各サークル（大正琴・詩吟・舞踊・フラダンス・歌謡等）の日頃からの練習の成果発表があり、会員相互の親睦を深めることができました。

年度 T山梨OB・OG会



関東

電電千代田会 「キャッシュレス決済を上手に 使おう」セミナーを開催

11月27日（月）NTT神田ビル1階OBサロンと多摩・上野支部事務室でのサテライトおよび自宅からのリモート参加者をネットワークでつなぎ「キャッシュレス決済を上手に使おう」セミナーを開催しました。（参加者は総勢81名）

セミナーは2部構成で1部では東京都金融広報委員会「知るぽると」の金融広報アドバイザー石村衛氏より「キャッシュレス決済を上手に利用するために」と題して、キャッシュレス決済とは何か？また利用するメリット・デメリット等をお話いただきました。

2部はキャッシュレス決済を学んだ上で、具体例として「NTTドコモのキャッシュレスサービス」についてNTTドコモ スマートカンパニー ウォレットサービス部の倉永千夏さんと川道美沙さんからdポイント、d払い、iD、Dカード等のサービスの概要とコード決済の「d払い」アプリのインストール方法の説明があり、早速使えるようになりました。



東京

日比谷同友会 秋の講演会を開催

日比谷同友会秋の講演会を2023年（令和5年）12月6日（水）學士會館において開催しました。

秋の講演会は日比谷同友会創立35周年の特別講演会以降毎年秋にNTTグループのトップの方をお招きして開催していますが、今回は日本電信電話株式会社代表取締役社長島田明様をお迎えし開催しました。

リアルでの講演会、立食形式での交流会を共に行うのは4年ぶりとなり約170名の方が参加し盛大に行われました。

今回の講演会は、島田社長から『挑む。人と地球のため



みについてご講演いただきました。

講演会終了後に会場を移し懇親会が開催され講師である島田社長を囲み楽しい懇談会が行われました。



に。～中期経営戦略の実現に向けて～』と題してご講演をいただき、NTT法のあり方について直近の情勢を踏まえてお話しいただくとともに新たな中期経営戦略について方向性や取り組み



本社

電電こぶし会 各種イベントを開催

◎講演会を開催

北海道地方本部の総会（理事会・評議員会）後にNTT東日本北海道事業部長を講師に「NTT北海道グループと地域の共創～ICT活用の現在と未来～」をテーマとした講演会を開催しました。NTTグループの現在と未来に向けた取組みを分りやすくお話いただきました。



◎札幌女性部レクを開催

札幌女性部では、例年、春と秋にレクリエーションを開催しています。今回は、防災センターにて消防士を体験し、地震や消火、救急など多くの防火・防災に関する知識を学びました。その後は、旬の料理に舌鼓、道の駅での買い物などを楽しみました。



◎親睦囲碁大会を開催

毎年恒例の「親睦囲碁大会」を開催しました。大会は、Aクラス、Bクラス、Cクラスに分かれ、日頃から磨いた腕を競いました。熱戦が繰り広げられた後は、笑顔で今後の技能向上と来年の再会を誓い合いました。



北海道

東北電友会 ◆史跡探訪（白河地区電友会）

白河市の小峰城の石垣、皆既月食観測の碑、隠れキリシタンの歴史等々、町の歴史や文化を学びその価値と魅力を探っています。仲間達と一緒に探訪し新たな発見に心躍らせております。



◆パソコン教室（電友会村山クラブ）

村山クラブのパソコン教室は、毎回20名前後の参加者で、会員が講師となって初参加の方にも優しくサポートしています。テキストに沿ってPCを操作。様々な「技」も学んでいます。



東北

信越電友会 「地区合同サークル」活動

信越では地区合同のサークル活動が盛んです。

ゴルフサークルは長野県の3地区と、新潟県でも3地区が交流ゴルフ大会を開催しました。



中信・南信・東信地区交流のゴルフコンペ

長野県のウォーキングサークルは「上田城さくらウォーク」を合同開催し満開の桜を楽しみました。また長野県会員の力作・秀作を集めた「いきいき作品展」を地区合同で開催し130名が鑑賞しました。



東信・北信合同の「上田城さくらウォーク」



下越・中越・上越地区の親善ゴルフ大会



北信・東信合同「いきいき作品展」

信越



NTTグループ団体扱 火災保険

住まいの安心を備えませんか？
ぜひ、きらら保険サービスにご相談ください。
保険のプロとして最適なアドバイスをさせていただきます。

「団体扱火災保険」のメリット

メリット
1

NTTグループだから団体扱のご契約で
10%割引に！

※大口団体割引は、2023年10月1日～2024年9月30日に保険始期日があるご契約に適用されます。（ただし、地震保険には適用されません）。大口団体割引は団体のお取引実績に応じて毎年10月1日に見直されます。

メリット
2

保険料は
振り込みナシで便利！

[退職者：口座振替]

お問い合わせ先
取扱代理店

 NTTグループ総合保険代理店
きらら保険サービス株式会社

お客様コンタクトセンター
 0120-590-251

受付時間 ……………
平日 午前9:00～午後4:00
(土・日・祝日はお休みさせていただきます)

きらら保険

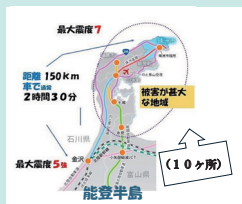
検索 

<https://www.ki-ra-ra.jp/>

2024-011

北陸電友会 「能登半島地震復旧応援 プロジェクト」 ～仮設住宅の集会所にICT環境を提供～

北陸



能登地震の被災現場

北陸電友会とBHNテレコム支援協議会が連携し、集会所にインターネット、WiFi、パソコン、プリンターを



仮設住宅集会所に
機材運搬

設置。
そして入居者のコミュニティ促進策としてパソコン、スマホ教室を予定している。

プロジェクトメンバー



東海電電旧友会 健康講座で若返り！！

東海

コロナ禍における生活から解放され、各支部主催の「健康講座」が復活した。

各支部では創意工夫を凝らし、講義あり実践ありで、実践は室内に留まらず室外（インターバル速歩）でも行っており、身体が軽くなる体験を味わうとともに、健康講座終了後はランチなどで楽しんでいる。

某支部では令和6年度定期総会の場を借りて、会員はもとより来賓も含めて「みんなで歌おう」と題して音楽家の先生のご指導で、腹式呼吸や嚥下予防に繋がるように



名古屋健康体操

口を大きく開き大きな声で歌い、若返りを図る動機付けとなった。



「みんなで歌おう」



電友会関西 「女性活動委員会」 第8回カラオケ大会

関西

女性活動委員会主催のカラオケ大会が2019年以来4年ぶりに今年3月13日(水)、KKRホテル大阪にて57名参加開催されました。

待ちに待った美声を会場狭しと響かせ、大いに盛り上がりました。改めて女性の元気で明るく爽やかなパワーを感じた一日でした。



九州電電同友会 「電友会親善ゴルフ九州大会」

九州

日時：令和5年10月17日

場所：チサンカントリー森山（長崎県諫早市）



恒例の親善ゴルフ九州大会も今回で49回を迎えました。今年は長崎支部の幹事で、九州内各支部から80名の参加で行われました。

当日は陽ざしが強く昼食時には疲れた様子の方もいましたが、和気あいあいみなさん親善を図られていました。



四国電友会 「松山電信発祥の地」 ボランティア清掃

四国

令和6年2月3日(土)、愛媛電友会有志により、「松山電信発祥の地」と銘記した石碑周辺のボランティア清掃を行いました。

東京～横浜間で電信が開始されたのが明治2年、松山に電信分局が明治11年に開設され、昭和47年に日本電信電話公社発足20周年を記念し石碑が建てられましたが、石碑裏面は雑木等で覆われ、碑文が見られない状態でした。

「電信は瞬間万里音信を通する至緊至妙の機関なり」という当時の文化の先端を記す石碑周辺を我々の手で綺麗にしようというNTT-OB・OGの熱い想いで実施し、3時間を超える清掃が終わった後は道行く市民の方々も容易に碑文を見ることができるようになりました。



中国電友会 NTT島根OB・OGグラウンド ゴルフ交流大会の開催

中国

鳥取・島根両県の退職者の交流とNTT・労組現役社員との交流を深め電友会の活性化を図るため、毎年、電友会島根支部と鳥取支部合同で相互に開催しているグラウンドゴルフ大会が5月22日、出雲ドーム(島根県出雲市)で開催されました。



参加者は、島根県・鳥取県のOB・OGの他、NTT島根支店の社員・NTT労組の皆さんを含め総勢83名で腕を競いました。会場は普段あまり経験のない人工芝のコースのため、最初は戸惑いながらも慣れてくるとあっちこちで歓声が上がりました。



コム同友会 設立記念式・講演会・懇親会 を開催

コム

設立以来コロナのために開催ができなかった懇親会等を開催しました。

設立記念式ではNTTコム初代社長鈴木正誠氏・持株会社総務部門長山本恭子氏からお祝いのご挨拶をいただきました。



講演会ではNTTコム社長丸岡亨氏の「ドコモビジネスがお届けする感動CX」、懇親会ではNTTフィルの演奏・浦安D-Rocksの選手紹介などを行いました。



ドコモ同友会 A&G (Art&Gourmet) サークル「ゴッホと静物画展」鑑賞

ドコモ

A&Gサークルは、2015年7月、アート鑑賞と美味しいお料理を楽しむ女性会員の交流サークルとして発足し、毎年2～3回、会合を開催しています。2023年12月には、吉澤同友会会長にもゲスト参加いただき、新宿京王プラザホテルでのランチの後、SOMPO美術館にて「ゴッホと静物画展」を総勢15名で鑑賞しました。



「ひまわり」や「アイリス」などの色彩のあざやかさに圧倒されました。



沖縄電電同友会 石垣島トライアスロン大会に おいてバンド演奏で応援

沖縄

令和6年4月21日(日)に開催された、「石垣島トライアスロン大会(NTT西日本特別協賛)」に「NTTOBバンドサークル」のメンバー6名がバンド演奏で応援した。同サークルメンバーは毎年演奏応援ボランティア活動を行っており地元のマスコミでも掲載されている。

ランコース沿道ではNTT沖縄支店の社員と一緒に水補給などの応援ボランティア活動に電友会会員8名が参加した。



～ NTT廣井副社長講演模様 ～

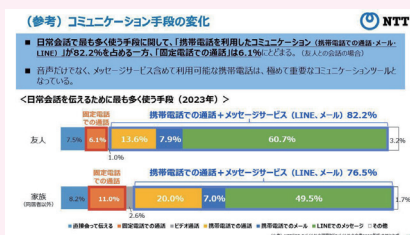
電友会本部の令和6年度評議員会にあわせて、NTT代表取締役副社長廣井孝史様より、最近のNTTグループをめぐる大きな論点（NTT法について、経営概況、成長戦略）について、ご講演をいただきました。

NTT法について

まず、第一弾として先般の通常国会でNTT法の改正が行われ、研究の推進責務及び成果の普及責務が廃止され、また、外国人役員に関する規制緩和、役員の選解任の事後届出制、剰余金の処分の認可廃止、会社名の変更が可能となりました。



今後は、ユニバーサルサービス、公正競争、経済安全保障の3つが大きな論点として、来年の通常国会に向けて議論が進められて行きます。ユニバーサルサービスの論点では、固定電話ユーザーの減少、収支の悪化、LINEなどのメッセージサービスが主流となった今の通信の実態、災害時の対応を考えると、今後はモバイルを中心に考えていくべきと



東西の業務範囲規制が時代にそぐわないので見直しましょうと主張しております。3つ目の経済安全保障については、基本的には国が国益を守るために必要な措置を講ずるべきなのですが、今の通信の実態からいって、現在の総量規制では不十分で、携帯電話事業者はじめ、事業として何らかの経済安全保障の措置を講ずるべきではないかと、という主張を展開しているところです。

事業の概況について

2023年度の連結決算は、営業収益13兆円、営業利益約2兆円、当期利益1兆3千億円となり、それぞれ過去最高を更新し、EPS一株当たりの当期利益も15.1円となって、これまでの目標を達成しておりますが、

2024年度の業績予想では、営業利益が1000億円ほど減益し、当期利益も1800億円ほど減益していきます。これは、2023年度は不動産など不稼働資産の売却で1000億円ほど利益が底上げされておりましたので、それを除いた場合は、横ばいというかたちです。ただし、2024年度は東西を中心とした地域通信事業が1100億円ほど減収しておりますし、営業利益はさらに大きく1500億円ほど落ちていますので、今や変曲点に来ていると言えます。一方、成長分野としては、ドコモによる総合ICT、中でも特にd払いなどのスマートライフ事業、また、NTTデータのグローバルソリューション事業も着実に成長しており、我々の事業をけん引している大きな2つのドライバーとなっております。

成長戦略について

中期経営計画の中で、これから成長投資として8兆円を投資していきます。具体的には、今一番マーケットとして成長しているNTTデータのグローバルDX・デジタル化のところに3兆円、データセンタの事業に1.5兆円、それから、ドコモのスマートライフ事業に1兆円、研究開発段階ですがIOWNにも投資をしていきます。また、サステナブルな循環型社会ということで、サステナビリティに貢献しながらも、それを事業機会として成長していくための投資をさらに1兆円やっていくというのが、主な内訳です。

中期経営計画で、少し曲がり角に来ている東西の事業の効率化と、成長分野での投資戦略を進めて行き、株主の皆様や期待に応えながら、ユーザーの皆様や社会からの要求にもしっかりと応えていく事業運営をしてまいりたいと思っております。引き続き今まで以上のご支援を宜しくお願い致します。



令和5年度「事業報告」

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により3年間にわたり自粛を余儀なくされることが多かった各種の行事や活動は、令和5年5月に感染症法上の5類に移行したことに伴い、回復ペースには温度差があるものの、概ねコロナ前に戻りつつある。

- 総会・評議員会の実施
令和5年4月から7月までの間に開催された本部及び地方本部や支部・地区等の総会・評議員会については、一部支部を除き、大半が「集合開催」となって令和5年度事業計画等が決議された。
- 仲間づくりと楽しい電友会活動の実践
地方本部や支部等における各種活動の参加者は149千人で、新型コロナ感染前の元年度に比べ78%の水準に留まっている。
また、「全国女性の会」を令和5年5月に京都市において開催し、15地方本部の参加者による活発な意見交換が行われた。
- ボランティア活動等による世の中への貢献
(1) 令和5年度のボランティア活動表彰者は、活動賞30名、活動功労賞9名となり、11月に表彰式と祝賀会を開催した。
(2) 「ボランティア活動物品支援」については、63団体に対し、233万円の支援を行った。
(3) シニアへの就労支援を行うNPO法人「アクティブシニア支援機構（ASO）」においては、デジタル活用支援推進事業や、スマホ教室、SSL活動、銅管柱等撮影業務、防災監視業務等の拡大に取り組み、電友会としても積極的に協力してきたところである。
- NTTグループとの連携と事業支援
NTTグループが企画・主催する退職交流会やCSR活動等が4年ぶりに実施されたことから、地元のNTTグループ幹部や社員、賛助会員との交流が急速に復活してきた。
- 会員の確保に向けた取り組みと財務の健全化等
令和4年度末の会員数は61,242名で、前年度末に比べ▲2,825名が減少している。そのような状況の中で、①退職者への入会勧奨、②ポスターの掲示、③経費の効果的な使用等により、入会促進と財務健全化に継続的に取り組んだ。
- 自然災害への対応
令和5年5月から7月にかけて、九州北部地方及び秋田県地方を中心に発生した水害において被災した12名の会員に対し、災害見舞金を支給した。

令和6年度「事業計画」

電友会は、会員の皆さまが社会環境の変化に柔軟に対応し仲間や地域の繋がりを大切にしながら、健康で有意義なシニアライフを過ごしてもらうようにお役に立つことを基本に、今年度も（1）仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、（2）ボランティアや就労の活動を通じた世の中への貢献、（3）NTTグループとの連携と事業協力を柱に取り組んでいく。

- 仲間づくりと楽しい活動の実践
(1) 電友会活動の大きな柱であるサークル活動、レクリエーション活動、講演会・セミナー等については、今年度も、魅力のある活動を展開する。
(2) レクリエーション活動やイベント等の優良施策、様々な分野で活躍する会員、健康寿命を延ばすための健康施策、ボランティア表彰受賞者の活動内容等について、会報誌・HP等でタイムリーに紹介・推奨する。
(3) 女性フォーラム、お元気ですかコール、ボランティア活動、サークル活動などについて、本部と各地方本部及び支部等の中で積極的な意見交換を行い、その更なる充実と拡大を推進していく。
- ボランティアや就労の活動を通じた世の中への貢献
仲間や地域との繋がりをもちながら取り組んでいるボランティア活動について、①優良活動を発掘し、表彰を実施、②地域社会で活躍されているボランティアサークルに対し、費用面から支援、③NTTグループのCSR活動に積極的に参加し、電友会のボランティア活動をPRしていく。
また、会員の就労ニーズに対応していくとともに、NPO法人アクティブシニア支援機構（ASO）の事業活動について広く会員の理解と認知度の向上を図る。
- NTTグループとの連携と事業協力
NTTグループとの連携にあたっては、NTT幹部との交流、CSR活動等への参加、NTTグループ事業動向等の会報誌への掲載、販売協力に取り組む
- 自然災害等への対応
大規模な自然災害に対し、本年1月に発生した能登半島地震等をも教訓に、緊急連絡体制の整備や、万一の時の安否確認や被災状況の把握、状況に応じた災害見舞金の贈呈を行っていく。
- 会員の確保と財務の健全化等
入会勧奨の強化の一環として、特に今年度は①首都圏において電友会主催の集合及びオンライン形式による退職説明会を開催し、②電友会の認知度向上のための「ポスター」をグループ会社の施設内への掲示していく。